

読書活動推進の取組

1 学校の概要

- ①所在地：いわき市平中塩字一水口37番地1
- ②学級数・生徒数：13クラス・452名（令和4年5月1日現在）
- ③学校図書館の蔵書数：29,774冊（令和4年5月1日現在）

2 読書活動推進の取組内容

- ①生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組
 - ・コーナー展示

図書館入り口付近に、新着図書、図書委員のおすすめ本、映画化・ドラマ化された本のコーナーを設けている。図書委員のおすすめ本のコーナーには図書委員が書いた本の紹介POPとともに本を展示している。



図書委員のおすすめ本とPOP

- ・広報活動

「ライブラリーニュース（図書館だより）」に新着図書案内やお知らせとともに図書委員の本の紹介を毎回掲載。

年度末発行の『白亜の友』（図書館報）に教職員の学生時代の読書体験やおすすめの本、また図書委員のおすすめの本・おすすめの本等を掲載。

これら広報で紹介した本についても、ミニコーナーを作成し、掲載した本を展示している。



・冬休み前の読書企画

今年度は文化祭開催の年で、秋の読書週間はそちらの活動を優先にしたため、冬休み前に読書企画を行った。来館した図書委員以外の生徒にもおすすめ本を挙げてもらいコーナー展示した。おすすめ本の推薦生徒と、図書館の本を借りた生徒を対象に、ミニプレゼントを実施した。



②学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

・朝の読書

8時30分～40分の10分間読書。8時28分に音楽を流し、着席を促す。図書館は4月の1年生の図書館オリエンテーション時に朝の読書についての資料を配布。また、朝の読書用の学級文庫を各クラスに貸し出し、学期ごとにセットの入れ替えをしている。

④その他、読書推進へ向けた取組

・推薦図書「平商の100冊」とコーナー展示

学習に役立つ本、将来の進路や生き方について考えさせられる本、教養として読んでおきたい名著名作、青春小説等を、全教職員が推薦（一人何冊でも）。平成28年度から年度ごとに推薦図書の一部入れ替えの形で継続しており、今年度は119冊の本が推薦されている。夏季休暇前に生徒・教職員に一覧を配布。図書館にコーナーを設けリストと共に図書を展示している。

